

項目	4 地域の防災活動における女性の活躍の促進について
答弁者	出野副知事
質問要旨	<p>地域防災の担い手となる人材を育成することは、地域の防災力を高める上でも重要である。避難所運営などの地域防災では、外国人や女性、高齢者といった視点も反映できるようにしなければならない。特に遅れているのが、外国人と女性の視点の反映で、その解決に向けた動きが遅れていた。</p> <p>そうした状況下で、昨年6月には、各都道府県知事・各市町村長宛て、女性の視点からの防災・減災に、これまで以上に力を入れて取り組むよう、防災担当大臣、男女共同参画・女性活躍担当大臣の両大臣からのメッセージが出されたが、県の対応が見えない。</p> <p>大臣メッセージを契機に、女性の地域防災での参画について再度検証し、一歩ずつ進めていくことには異論はないと思うが、市町や自主防災組織と課題を共有し、進めていく必要がある。防災・減災、災害に強い社会を実現するためには、女性が防災の意思決定過程や現場への参加に向けた具体的な方法を検討しなければならないと考える。</p> <p>県ではこれまでも、静岡県男女共同参画基本計画により、あらゆる場面における女性が活躍できる環境づくりに努めてきているが、地域の防災活動における女性の活躍を促進するための課題は何か、解決に向けてどのように取り組んでいくのか、県の考えを伺う。</p>

<答弁内容>

地域の防災活動における女性の活躍の促進についてお答えいたします。

県では、防災分野における女性の参画拡大を目指して、平成25年度から、市町と連携して、女性防災リーダーの育成に取り組んでまいりました。これまで326人を育成し、人材情報を市町に提供するとともに、育成したリーダーの防災力の向上を図る研修を実施してまいりました。

しかしながら、本県の「女性が役員として参加している自主防災組織の率」は、38.2%にとどまっており、有識者からは、「自主防災組織は男性中心の地域組織で、女性が入っていくのは容易ではない」、「女性は補助的業務に従事している」との御指摘を頂いております。地域の防災活動への女性参画の課題は、自主防災組織や自治体職員の防災活動への女性参画の理解向上や、女性防災リーダーが意思決定の場へ参画する仕組みづくりであると認識しております。

このため、女性参画の理解向上のためには、来年度、新たな取組として、危機管理部とくらし・環境部が連携し、「災害対応力を強化する女性の視点」研修を実施してまいります。具体的には、内閣府の実践的学習プログラムを活用し、「防災になぜ女性の視点が必要か」、「男女共同参画の視点からの防災の取組の実践」をテーマとした研修会を開催し、市町職員との課題の共有や自主防災組織の役員等の意識改革を進めてまいります。

また、仕組みづくりのためには、女性防災リーダーが防災活動の意思決定の場に参

画できるよう、モデル市町において、自主防災組織と女性防災リーダーとのマッチングを進めてまいります。実施に当たっては、これまでに育成した女性防災リーダーを対象に調査を行い、地域の防災組織等に参画する際の具体的な課題や活動したい分野等を把握し、自主防災組織が実施する避難所運営訓練等に企画段階から参画できるよう調整してまいります。

県といたしましては、防災活動における女性の参画拡大により、地域の災害対応力を強化し、誰一人取り残さない安全・安心な社会の実現に努めてまいります。

以上であります。